

## 令和8年度東京都立本所高等学校経営計画

### I 目指す学校像

#### 【スクール・ミッション】

「人格の完成を目指し、優れた社会人としての資質を形成する」を教育目標とし、持続可能な社会の担い手として、主体的に学び続ける人材、多様な人々と協働する人材、正解のない課題に挑戦し、新しい価値を生み出す人材を育成します。

#### 【校訓】 規律と創造

#### 【育てたい生徒像】

- (1) 自分を大切にし、他者を大切にする生徒
- (2) 目標に向かって努力し続ける生徒
- (3) やるべきことを自覚して、自ら考え行動する生徒

### II 学校経営の目標と方策（●は、今年度重点的に取り組む項目）

#### 【中期目標1】主体的に学ぶ態度を育成して生徒の学力を向上し、進路希望をより良く実現する

- (1) 生徒の学力を伸ばす指導体制と支援を充実する●
  - ア 生徒が思考する授業づくりを進める。
  - イ 進学のための学習を進めるのに必要な体力の充実を確実に行う。
  - ウ 英検の全生徒受検、模試の活用により、生徒の目標管理を行う。学習状況や進路希望の情報共有により、データや根拠に基づく学習指導を行う。
- (2) 生徒の学習意欲を高め、自学自習を定着させる●
  - ア 朝学習、補習・講習会、週末課題など、学習習慣を定着させる取組を徹底する。
  - イ 自習室の整備とチューター制度の活用により、自学自習を支援する。
  - ウ 読書習慣を身に付けさせ教養を高める取組を推進する。
- (3) 探究プログラム「本所の探究」をより一層充実させる
  - ア 年間計画、教材、評価規準、指導事例の蓄積・共有を進め、組織的に探究活動を推進する体制を整える。
  - イ 探究活動について、他校と相互に発表し評価しあう機会を設ける。●
  - ウ 大学等との連携により探究を深める。外部の発表機会に積極的に参加する。
  - エ 文理融合・教科横断型の授業や教育活動を推進する。最先端の研究や企業活動に触れる学習活動を取り入れる。
- (4) 本校独自のキャリア教育を充実し、生徒の進路実現を支援する
  - ア 進路希望と探究活動の方向性が一致するキャリア教育を工夫する。●
  - イ 生徒の自己有用感を高め、進路第一希望を2年生の間に決定するよう支援する。決定後も継続的な面談やガイダンスを行い、進路意識の深化と進路実現を支援する。
  - ウ 大学教員による説明会や出前授業など、進路ガイダンス機能をより一層充実する。

(5) 教員の指導力・授業力の向上

- ア 生徒が考え表現する授業づくりを進め、主体的・対話的で深い学びを実現する。●
- イ 学校図書館を授業で積極的に活用する。
- ウ ICTを活用した効果的、効率的な授業作りを進める。
- エ 授業研究はテーマを定めて組織的に行う。
- オ 相互授業参観を行う。先進校視察、予備校での研修等への参加を推奨する。
- カ 進学対策の研究協議を行い、教員の進学指導実践力を高める。
- キ 人権教育を推進し、教員及び生徒の人権意識の向上を図る。

**【中期目標2】特別活動を充実させるとともに、安全・安心で規律ある学校生活を維持することにより、生徒の Well being を向上する**

(1) 学校行事、部活動等の充実

- ア 学校行事では、生徒一人一人に役割を与え、自主的に行動する姿勢を身に付けさせる。
- イ 体育的行事を充実させて、生徒にスポーツすることの楽しさや感動に触れさせる。
- ウ 下町文化、日本文化など、地域の特性を生かした特別活動を工夫する。
- エ 部活動は、「部活動に関する総合的なガイドライン」に基づき活動する。成果は全校で共有し、喜びを分かち合う。
- オ 文化部の魅力を積極的に発信し、参加しやすい活動形態を工夫する。●

(2) グローバル社会で活躍する人材の育成を目指す国際理解教育の促進

- ア TOKYO GLOBAL GATEWAY の活用や海外学校との提携等により、生徒に国際文化交流を体験させる。●
- イ 東京 2020 大会レガシー継承のため、多様性を尊重し、共生社会の実現や国際社会の平和と発展に貢献する取組を行う。

(3) 教育相談を推進し、生徒の学校生活を支援する

- ア 支援が必要な生徒を早期に把握し支援する。必要に応じて個別支援計画を作成する。
- イ 課題をかかえた生徒には、複合的要因を踏まえた支援を行う。保護者との連携、心理職等の専門家への相談を確実に言い、必要に応じて関係機関と連携する。

(4) 生活指導と教育相談を一体化し、生徒の心をはぐくむ

- ア 校内におけるあいさつを励行する。
- イ 生活指導は、生徒が理解して納得することを基本原則とする。
- ウ 遅刻防止や身だしなみ指導は、生活指導統一基準に則り、全教員が組織的に行う。
- エ 遅刻・欠席状況に応じて、生活指導・教育相談・保護者連携を一体的に進める。
- オ 全教員が、授業のチャイム始業・終業、授業規律を徹底する。
- カ 生徒会を中心に、校則の見直しや学校生活の改善を進める。生徒の声を聴き、対話を行う。●

(5) 安全・安心な学校生活を担保する

- ア セーフティ教室等をとおして、生徒の規範意識と危機管理能力を高める。
- イ いじめや命に係わる事故の未然防止と早期発見のための組織的な対応を行う。S O S の出し方に関する授業等を各学年で年に1回以上行う。
- ウ 自転車通学のルールやマナーの指導を徹底する。ヘルメット着用率の向上を図る。
- エ 地域や消防署等と連携した防災教育を行う。より一層実践的な避難訓練を工夫する。

### 【中期目標3】20年後につながる持続可能な学校運営体制を構築する

- (1) 校内の整理整頓を徹底し、施設設備の見直しを行う●
  - ア 机上整理、定期的な職員室・準備室・教材室の大掃除、不要物の廃棄を行う。
  - イ 生徒用・教員用の机・いす等の什器の補充、交換を中長期計画に基づいて実施する。
  - ウ 職員室のフリーアドレス化に向けた対応を計画的に行う。
- (2) 組織的、自律的な学校運営を推進する
  - ア 学年・分掌間の情報共有とすり合わせを強化して、合意形成を円滑にする。
  - イ 若手・中堅教員の学校経営への参画を促進する。
  - ウ 学校運営のICT化を推進する。ペーパーレス会議を進め、紙資料の削減に努める。
  - エ 服務事故防止研修を実施し、服務事故の防止と体罰の根絶に努める。
- (3) 経営企画室の学校経営への参画を推進する
  - ア 自律経営予算の計画的な予算執行を進める。
  - イ 経営課題を解決するための機動的予算執行を行う。
  - ウ 経営企画室と分掌、学年等の情報共有を徹底し、経営企画室の業務軽減を図る。
- (4) 開かれた学校づくりを推進し、生徒募集広報活動に組織的計画的に取り組む●
  - ア 中学生とその保護者のニーズを把握して、本校の魅力を戦略的に発信する。
  - イ 本校を志す中学生とその保護者に必要な情報が伝わる取組を工夫する。
- (5) 大規模災害への組織的な体制を整備する
  - ア 定型的な訓練からの脱却し、災害時の状況を考慮した防災訓練、避難訓練を実施する。
  - イ 墨田区との連携を推進する。災害発生時における本校の具体的役割を整理する。
- (6) 教職員の職場環境の改善を進め、ライフワークバランスを推進する
  - ア 教職員の心理的安定性を高め、ハラスメントのない職場づくりを進める。
  - イ 勤務時間外在校時間の短縮に努め、計画的な休暇の取得を促す。
  - ウ 安全衛生委員会による執務環境の整備、改善に努める。

【数値目標】

	項 目	今年度の目標	中期的目標
進路	1 週あたり自学自習時間	1年生 8時間 2年生 10時間 3年生 20時間	
	2 長期休業日中の講習	100 講座以上	
	3 大学入学共通テスト試験受験者数	200 名以上	
	4 大学入学共通テストの平均点偏差値	50 以上	
	5 国公立・早慶上理・GMARCH合格者数	30 名以上	60 名以上
	6 日東駒専レベル以上合格者数	150 名以上	200 名以上
	7 四年制大学進学率	83 %以上	85%以上
	8 英検 2 級相当 CSE スコア取得合格者	60 名	80 名
	9 進路決定率	100 %	
	10 キャリア教育に対する肯定的回答	80 %以上	95%以上
授業	11 授業に対する肯定的評価	85 %以上	95%以上
	12 相互授業参観とフィードバック	1 教員 3 回以上	1 教員 3 回以上
	13 ICT・スマスク等を活用する授業	90%以上	95%以上
生活	14 遅刻数	4000 回以下	3000 回以下
	15 体カテスト	全国平均以上	
	16 皆勤率	20%以上	
	17 不登校率	5%以下	0%
	18 部活動参加率	85%以上	90%以上
	19 「部活動の充実」に対する肯定的評価	85%以上	95%以上
教員	20 勤務時間外在校時間 45 時間以上	年 90 人以下	年 80 人以下
	21 年休の取得	17 日	18 日
募集	22 地域の肯定的評価	80%以上	95%以上
	23 ホームページの更新	150 回以上	200 回以上
	24 入選中進対第一希望予想倍率	1.6 倍	2.0 倍
	25 入選推薦応募倍率	4.0 倍	4.5 倍
	26 入選一次応募倍率	1.5 倍	1.8 倍